

会 議 録

1 会議名

令和5年度第3回吉川区地域協議会

2 会長挨拶

3 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

（1）会長報告

（2）委員報告

（3）事務局報告

・諮問事項（公開）

（1）上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について

・協議事項（公開）

（1）自主的審議事項

（2）その他

・総合事務所からの諸連絡について（公開）

・その他（公開）

4 開催日時

令和5年7月20日（木）午後6時30分から午後8時20分まで

5 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

6 傍聴人の数

1人

7 非公開の理由

なし

8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐豊、薄波和夫、江村奈緒美、大滝健彦、片桐利男、佐藤 均、関澤義男、高野幸夫、橋爪正平、平山浩子、山岸晃一

・事務局：吉川区総合事務所

風間所長、平山次長、山本市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、平原総務・地域振興グループ班長、霜鳥総務・地域振興グループ主任

9 発言の内容（要旨）

【平山次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・委員 11 人の出席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：片桐委員

【山岸会長】

- ・挨拶

【平山次長】

- ・議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

【山岸会長】

- ・次第の 3 報告事項(1)会長報告であるが、7 月 7 日頸北地区地域協議会正副会長会において 8 月 8 日に予定した頸北地域合同の勉強会は、会議で柿崎区が都合がつかないとのことで、情報交換と地域独自の予算の各区の内容やどうしたら予算化できるのかを確認したかったのだが、開催は中止することとした。明日、地域政策課に直接確認した上で日にちを変えるなり、8 月 8 日に予定したものをそのまま実施して違う内容になるのか他区の正副会長と相談することとなった。

((2)委員報告はなし)

- ・次に(3)事務局報告をお願いする。

【平原班長】

(資料 1「第 2 次上越市総合公共交通計画における吉川区内の後期再編計画（案）について」に基づき説明)

【山岸会長】

- ・ただいまの説明について質問はあるか。

【薄波副会長】

- ・利便性の向上と市の財政改善という話があったが、財源について市の補助が 4,500 万円、国・県が 1,700 万円くらい出ている。直ぐには計画は実行しないということであるが、実施により市はどれくらいの財源削減を見込んでいるのか、目標を立てているのか状況を教えて欲しい。

【平原班長】

- ・後日確認して報告する。

【薄波副会長】

- ・11月に公共交通懇話会があるのでそれまでに教えていただくと有難い。

【五十嵐委員】

- ・再編後、旭地区を回る西部循環線の範囲と泉谷循環線の範囲内において小中学生の通学手段はどうか。

【平原班長】

- ・小中学生は、現在、小学生はスクールバス、中学生は路線バスを利用しているが、再編後は全てスクールバスで送迎しようと考えている。

【山岸会長】

- ・次の報告をお願いします。

【平原班長】

- ・地域の皆さんと総合事務所職員との「地区別懇談会」について報告する。
- ・6月27日から7月6日まで、8会場で、今年度の主な事業の概要、上越市総合公共交通計画の後期計画案、公の施設の適正配置計画、消防団の再編について総合事務所から説明させていただき、意見交換と懇談を行った。会場では、約90件の質問や意見をいただき、そのうちの半分以上はその場で答えを返した。持ち帰った案件は、県道や河川の補修や空家対策など、他の機関への情報提供、事実確認などが必要なものが主であり、現地確認や、他の機関、担当部署へ話をつないだ上で、対応状況や対応予定について、町内会を經由し、地域の皆様に回答する予定である。回答は、8月下旬頃を予定している。

【山岸会長】

- ・私も高野委員も竹直の会場に参加し、どのような意見が出るのかお聞きした。山本グループ長に聞きたいことが1点あり、公の施設の適正配置計画で竹直分館は来年であるが、なるべく早く地域との話し合いに入りたいと聞いたが、地域協議会にも早めたことを報告いただきたい。また、令和2年にお聞きした宮崎参事の話とズレがあることを指摘させてもらった。最終的には山本グループ長の話で進むことになると思うが、できれば最初の参事の話のように、地域と話し合いを進めて過度な負担とならないよう尊重していただければ有難いと思う。これに関しては、公民館運営委員と公民館主事と懇談し、今までの単位の活動をどうやって継続を図るのか話

し合いたいと思っている。その際も今後説明に入られるときは、行政の意向を明確にお聞きしたいと思っている。

【山本グループ長】

- ・令和6年度に計画に載っている施設は竹直分館と源分館であるが、総合事務所は地域の皆さんに出来るだけ早く説明に入りたいと考えている。木田各課との調整作業を進めている状況である。

【山岸会長】

- ・分かった。よろしく願います。
- ・次の報告事項をお願いします。

【平原班長】

- ・地区別懇談会で8会場に89人から参加いただいた。追加させていただく。
- ・第25回越後よしかわやったれ祭りについて報告する。
- ・上越市がイベントを共催しているほか、総合事務所は、実行委員会に参画している。また、60万円ほど補助金を交付している。詳細は、今後、実行委員会からチラシなどが各戸に配られる予定で、今回の「まちづくり吉川だより」にも概略が掲載されている。
- ・今回のやったれ祭り、日時は8月5日(土)午後3時から(夜9時まで)、会場は、「原之町商店街周辺」。4年ぶりに会場が原之町に戻る。祭の時間中、準備の時間も含めて、午後1時から夜10時まで原之町商店街周辺、柿崎牧線の一部区間、大潟高柳線の一部区間が車両通行止めとなる。

【山岸会長】

- ・稲穂竿灯の作成指導で大滝委員と佐藤副会長が携わっている。
- ・今の報告について、質問意見はあるか。
(質問・意見なし)
- ・次の報告事項をお願いします。

【平原班長】

(資料2-1~4に基づき、他区の地域活性化の方向性について報告)

- ・当区の方向性について、次回かその次の回で協議いただくよう準備を進めている。

【山岸会長】

- ・今の報告について、質問意見はあるか。
(質問・意見なし)

- ・4 諮問事項(1)上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）に入る。通常、諮問をいただく場合だが、実際の諮問の前に、担当課などによる事前の説明があったかと思う。何かの諮問のときにもあったが、国や県の方針や法整備のスケジュールが遅れ、準備が整わず、止む無く事前説明ができずに「諮問」となったときもあったように記憶している。今回は、事前に事務局側からも申し入れがあり、先週、勉強会で委員の皆さんが集まったときに、事前の説明を受けるという形を取ったが、次回からは、きちんと諮問前の説明を行っていただきたい。こういう形で行っていただくことは、非常に不本意であり、協議会の立ち位置としては諮問の前に担当部署の方から来ていただいて説明があって次に進んでいただきたいと思っている。では、説明をお願いします。

【平山次長】

（資料3「上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について」に基づいて説明）

【山岸会長】

- ・今の説明について、質問意見はあるか。
- ・道の駅の活性化は、第7次総合計画には観光振興の強化があり、地域間交流、広域周遊観光の推進とか市内の回遊性の向上、そこには3つの地域が入っていて春日山が入っている。当区の代表的な施設、道の駅から人の流れを作っていきたいが、大乘寺、天林寺が吉川の謙信ゆかりの地となり、柿崎には柿崎影家、柿崎城址がある。春日山から人の流れを作ることを、この過疎地域持続的発展計画に盛れないか、事務局に事前に確認した。しかし、今まで計画に登載されていない事業を新たに盛ることは難しいとの回答いただいた。第7次総合計画に照らしても春日山から吉川に人を引っ張るために、道の駅の活性化が全てに繋がるのではないか。これから計画を起こしていく訳であるから何とかならないのかと思っている。
- ・これが駄目なら地域独自の予算でなんとか道の駅と吉川区内を活性化させたい。事務局からは、駄目と見解をいただくのではなく、提案をいただきたい。しかし、独自予算のパンフレットには（来年度事業として提案する場合は）8月中にと書いてあり、急がなければならない状況である。過疎地域である吉川区と柿崎区で、盛り上げる方向性を出せないかと考えている。

【五十嵐委員】

- ・過疎地域とは旧上越市と頸城区と大潟区を除く11区という理解でよいか。

（事務局：「はい」との回答）

- ・新旧対照表に旧上越市の内容が触れられているのが疑問。旧上越市がなければ13区に行けないのかという気がしている。観光面で新旧対照表のP33で「上越観光NaviやSNS等を通じて、本市ならではの観光コンテンツやイベント等を効果的に組み合わせで発信するとともに、各地をストレスフリーに移動・周遊できる環境の整備に取り組む。」と記されている。市は本気で取り組んで欲しいと思った。

【佐藤副会長】

- ・新旧対照表のP30で以前は「イノシシ」と書いてあったが、新しい方は「鳥獣」となりイノシシの固有名詞が消えているが、イノシシは結構出ていると思うが、変更できるか。
- ・新旧対照表のP38「耕作放棄地」が「荒廃農地」に変わっているのはどういう理由が教えて欲しい。

【風間所長】

- ・「耕作放棄地」から「荒廃農地」への変更は、関係要領の文言に合わせた変更である。
- ・「鳥獣被害」の方は手元に資料がないため、後日回答する。

【高野委員】

- ・鳥獣被害は、中山間地の整備が一番の課題である。新旧対照表のP29「被害の拡大」で「猟友会等への負担の増加が課題となっている。」は筋違いと思う。鳥獣被害対策協議会でも「追うのではなく追わないで捕る方法」の方が課題ではないか。中山間地は広いので電気柵を取れば必ずそこからやられてしまう。疑問を呈させていただいた。

【風間所長】

- ・担当部局に伝え、後日回答する。

【山岸会長】

- ・答申に向かう諮問であるわけで、「後日」ということであれば、答申も先に送ってよいか。確認する。

【風間所長】

- ・回答が来次第、送付するがいかがか。

【山岸会長】

- ・答申は来月の定例会でよろしいか。
(全委員、同意)

【山岸会長】

- ・できるだけ早く伝えていただきたい。
- ・答申に付帯意見をつける希望のある委員は、8月3日までに任意の様式で構わないので事務局に提出していただきたい。
- ・次に、次第5協議事項(1)自主的審議事項等について、に入る。まず、「公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について」、6月22日の勉強会で公民館事業の現状や今後について、公民館主事や運営委員の皆さんとお話をした上で、意見書にまとめて提出という話になっていた。事務局から日程調整してもらい、8月7日午後6時30分から、公民館主事、運営委員の皆さんと懇談を行う。会場は、この会議室を予定している。現時点では、8月8日に4区の協議会の地域独自の予算についての研修会・懇談会を木田の担当に来ていただいていたと思っていたが、難しい話をされている。8月7日はそのまま進めてよいか。

(全委員、同意)

- ・「地域独自の予算事業の提案等検討について」に入る。道の駅と尾神岳周辺の活性化について、事業提案、あるいは意見書の作成ということで、これまで話し合いを行ってきた。尾神岳周辺の活性化については意見書にまとめて提出する。道の駅の活性化については絞り込んで独自の予算、過疎地域持続的発展計画に入れてもらえないかと思うところだが、今日は道の駅に集中してまとめて行きたい。
- ・両副会長と先日の勉強会を踏まえて取りまとめてみた。改めて確認していただいて他の提案があれば発言していただきたい。道の駅よしかわ杜氏の郷活性化に向けて1つは吉川区内の観光資源の案内板を設置して欲しい。春日山からの人を誘導できるような看板にしていきたい。1つは施設内の案内所が手狭である。拡張してモニターテレビを設置し、区内の観光案内、区外の近隣の観光案内の映像を流していただきたい。今はパンフレットが置いてあるが残念ながら寂しい状況である。1つはアンケートにもあった遊具の設置。コンビニの裏側に東屋があるがその手前の緑地に設置してはどうか。緑地を芝生広場にしてキャンプ場にできないか。米山を見て寝泊まりできる。風呂もゆっつりの郷があり、コンビニもあり絵面としても映えるのではないか。キャンプの設備やバーベキューセットを貸出したらどうか。それには道の駅サポーターズクラブ、観光協会とまちづくり吉川と協議して立ち上げて緑地の整備等々、人が沢山寄るようになると当然ごみも沢山出るため、トイレも含めてバージョンアップできないかと思う。本来は市の施設としてお金をかけるべきところであり、第7次総合計画もあり、過疎地域持続的発展計画もあり、地域独自の予

算も含めてお金をかけるべきではないかと思う。結果は初めて来た人でもその後何回も道の駅を利用していただけるようにしたい。

思いつくままに上げてみた。皆さんの意見をいただいて総合事務所と相談してどうやったらどれを事業化できるのか、サポーターズクラブだけでは駄目なのか。中川市長と直接やり取りしたときにハードが絡むようなら事前に相談してくださいともおっしゃっていた。秘書課を通じて総合事務所と相談して今申し上げたことに皆さんにプラスしていただいて持ち込もうと思っている。なんとか吉川区の活性化にお金を振り向けていただけないかと思っている。

【関沢委員】

- ・会長が言われたモニターテレビの設置は大変良い。謙信の文化を映して 20～30 人がモニターを見られる休憩所、きれいなトイレは大前提だと思う。もう 1 点、キャンプ場は頸城区の大池では元気事業で整備し、設備も貸出し、夏になるとテントを張っているのを見ると頸城の人もやるなあと思っている。吉川も可能な限り老若男女、休憩所に寄って話し合いや何かができる憩いの場、総合事務所でも年寄りのお茶飲み会があるが、それは行政からの事業であるので、そうではなくて地域の皆様が力を入れて地域活性化するものではないかと思う。この前中川市長と面談したときにも、ソフトばかり言っていないで少しは金をかけてでもやってもらいたいと言った。皆さんの力で継続事業の中でやれる方法もあるし、事務局の協力で吉川を盛り立ててもらいたいというのが、私、個人の願いである。

【片桐委員】

- ・関沢委員が言われたリニューアルに期間を設けるとするのはそのとおりでと思う。道の駅サポーターズクラブは早々にやっていただきたいと思う。先の勉強会で観光協会が開いた道の駅ライブは大変盛況で沢山の人が集まったので、道の駅としてはリニューアルする意気込みで向かっていただきたいと思う。規模的に金銭的に大規模になるようであればサポーターズクラブの方の意見を聞きながら、それに沿った仕様のやり方で市から進めていただきたい。誰が何をしたいのか、道の駅サポーターズクラブを早々に立ち上げていただいて意見を生かしていただきたい。

【五十嵐委員】

- ・会長の言われた内容を確認したいが、看板とモニター、案内所、遊具、緑地でしようか。一緒に要望したいと考えるのか、その中から選択するのが 1 つ。2 点目は、緑地はあの辺かなと思うのだが、そこにキャンプ場を作ったときに近くに建屋

があるのに火を焚いていいのか。危険性はどうかかなと考えてみたが、会長の考えをお聞きしたい。

【山岸会長】

- ・今までお話ししたものは年次計画で順次やっていただければと思っている。順番は皆さんと相談するが、一度に全部は、それは途方もない予算になってしまう。継続して順次やっていただければよいかと思う。キャンプファイヤーとバーベキューは実際にそれをしたときに消防法を確認してみないと分からない部分はある。ただ、区内の旅館にという1つの手もあるが、ゆったりの郷は泊まれる場所がないのが唯一の欠点だと思う。私がゆったりの郷に勤務していたときは、柿崎区のマリンホテルハマナスとか尾神のスカイトピア遊ランドに振っていた。道の駅（周辺）で寝泊まりできるとなれば留まる方は必ずいるし、あそこでお金を使う人も増えるはず。そういうことから発想した。

【五十嵐委員】

- ・看板であるが、今のものをきれいにするのか新井柿崎線を通る人にも分かる目立つ大きい看板を作るということか、どちらか。

【山岸会長】

- ・私案であるが今の看板のことではない。郵便ポストの付近でトイレを利用する人が目にするような区内の案内板があれば良いと思っている。

【五十嵐委員】

- ・それも良い案と思うが、私は道路を通っている人に、ここにあると分かるような看板が欲しいと思う。どこを通っても道の駅に見えない。車が止まり、植木があり、分からないところが残念だと思う。

【山岸会長】

- ・道の駅を利用する人達の大半は、どこにあるか調べて動くはず。そこに入った人、セブンイレブンやトイレ、駅と書いてある。突然そこに寄る人もいるが、入った人が吉川にこのような所があるのかという流れを是非起こしたい。いずれにしてもお金が絡むのでなんとかならないものか。アンケートをとって、何もなかったでは申し訳ない。最小最悪で意見書になるが、意見書は所詮意見書と思っている。行政が予算を取ってくるためにはどうしたらよいか。所長、どうしたらいいのか教えてほしい。

【風間所長】

- ・ハードの要望が多く、皆様のご意見と要綱を比べながらお話を聞いていたが、要綱の中では地域活動を伴わない備品の購入または設備の設置等の事業については駄目ということになっているし、公の施設の建設若しくは修繕は対象外となっている。ご意見をいただきながら、何かできることはないかと私も考えている。

【山岸会長】

- ・できれば来月の定例会で良い方向に向けられるのが理想的であるが、地域活性化の観点からして、地域のお宝を、という市長の考えから、我々地域が何を求めているかということに考えを回してもらおうと何も問題ないと思うが。あそこに人が入ってくることは活性化につながる。フォローしなければいけないことは、美化である。人が入ると汚れるし、マナーの悪い道德教育の行き届かない人もいるので、これはサポーターズクラブが手を出すところかなと思っている。それ以前にそういう場所にしていだかないとサポーターズクラブが動いてみようがない。立ち上げたは良いが、どうしようという訳にはいかないのです。

【片桐委員】

- ・所長が言ったとおり、この事業を対象外とするのはそれはそれで良いと思う。サポーターズクラブで提案してみて、市が駄目といったらそれはそれで良いと思う。市は、そんなものしか考えていないのだと皆に知らしめるようなものであるから。口では一丁前のこと言っているけど、やっていることは何も市民に寄り添っていないのだということを知らしめるようなものである。サポーターズクラブを募集して皆様がどういうことを考えているか、それをそのままとめて、施設の補修もあるかもしれないし、設置もあるかもしれない。なんだ、市はこんなもんかと、市民のことが一番とか言っているけれど、こんなものしか考えていないのだということを知らしめるにはいいことだと思う。

【山岸会長】

- ・1つのやり方でしょうけれど。皆さんに声掛けして立ち上げるには何か実がないと。結局何もならなかったということになれば、何だ、ということになる。片桐委員は既にゆったりの郷の応援隊をやっていらっしゃるのですよね。

【片桐委員】

- ・まあ、ちょっとした手伝いを。

【山岸会長】

- ・声掛けすれば、結構集まると思う。どちらが先なのか。片桐委員は良いという方向で言うておられる。

【片桐委員】

- ・8月17日にライブがあった。入場者に配布したリストバンドの数からして400名程の方が数時間の間においでになった。そして対面でなく左右にステージを設けたので動線があった。一観光協会があれだけの人を動員した。サポーターズクラブが動けば更に大きな動員になる。それが道の駅を活性化することに繋がると私は考える。

【関沢委員】

- ・折角アンケートを取ったのに何もしなければ、地域協議会の腰砕けということになってしまう。そうは言われたくないし、大きいことをしなくともアンケートの中の小さなことでも地域独自の予算でやることにしたい。とにかく事務局にお願いする。

【山岸会長】

- ・アンケートといえば社会福祉協議会には提供したと認識した。この間の社会福祉協議会の会議でアンケートの中の部分を利用されていた。他の団体はこれからか。若い人の意見が少ないというのが7割の回収率で皆さんが地域のことを思っていることは間違いないし、あれを生かさない手はない。総合事務所は、気合を入れてやっていただかないと、と思う。よろしく願います。

【片桐委員】

- ・道の駅は雑誌Komachiに載っている。その中で、長岡市（道の駅「良寛の里わしま」）で2億円かけて館長の家を移築したということで道の駅になっていた。上越市でできない訳はない。それはやる気がないから、頭がないからだと思う。

【山岸会長】

- ・3つしかない道の駅。しかも柿崎インターがすぐそばにあって信越線もあって、新井柿崎線もあり、あそこは認識すれば入りやすいところだと思う。是非、活性化に市の方も本腰を入れてもらいたいが、行政の道の駅活性化検討委員会は未だに招集がかかっていないし、前に進んでいない。結局、何をどうしようと思っているのか分からない。着実に地域としては進めていかないといけないと思っているし、加えて市の施設「道の駅」であるので、産業・建設グループの集約元である柿崎区も一緒に取り組んでいただきたい。担当が吉川区出身で吉川区のことをよく分かっているはずなので前進するのではないかと期待している。皆さんからアドバイスをいた

だき総合事務所からも知恵をいただき、何とか少しでも実現の方向に向かいたいと思う。

【関沢委員】

- ・モニター、休憩所は行政と擦り合わせできないのか。総合事務所も骨を折ってもらわなければいけないけれども、元は木田の所管課であるだろうし、審査するのは市議会議員。会議後、本日傍聴に来られている市議会議員に市のことをお聞きしたいと思っている。吉川区には区出身議員もおおり、その中で何にもできないのはおかしいと思う。総合事務所も、市議会議員も、何とかご助力願えないか。

【山岸会長】

- ・市長と直接話したいと思い面会を申し込んだが、結局、秘書課では総合事務所と相談して来てくださいということなので、中々どうしてよいか掴めない。4区で研修会もあるが、市を実施主体として地域独自の予算を計上している頸城、中郷、名立、三和がやっているものは、所長が言うハードの部分が表に出ている。あながち駄目ではないから、何かやり方があるのではないかという気がしてならない。そこを木田の担当から聞いたかったが、実現しなかった。明日、直接お会いして聞いて来ようと思っているが、その説明に合わせてやるやり方もある。(木田の担当課の話の通り) 総合事務所から説明を聞いて進めてほしいという話では納得できない。今まで事務所からは散々説明いただいているし、これ以上はないと思っている。4区が一律とは言わないが、それぞれの思いが行政を動かして地域の活性化につながらなければ何の意味があるのか。是非、そのような動きにならないものか、という思いは強い。

【五十嵐委員】

- ・難しい。「ハード面だけでは駄目」はガツンとくる。サポーターズクラブで大勢集めるといった話が出たが、例えば看板を作るとして、板金屋もいる塗装屋もいるということになれば、作るから材料費をくれということはできるのか。緑地を作ります。造園家います。俺、ショベルももっている、ということで、材料費の請求ができるのか。

【風間所長】

- ・市の施設を改修するということになれば、それは難しい。個人で造成は駄目である。看板は分からないが、活動する団体があって事業を行うことになるので、今回、市の施設になるので、市としてどうかということがまず第一の話になり、その部分を団体がどう活動したいかを考えながら、そこはご意見を聞きながらということになる。市の施設についての考え方の整理、修繕については、ハードルは高い。

【山岸会長】

- ・この前の移動市長室では、看板は考えていると言われていた。これは、前に出せるなど思っている。考えているということはやってくれると、そういう了解はとっている。ただ、あの案内所では寂しすぎる。市の施設なのだから、市内に3つしかない道の駅なのだから、もっと何とかならないものか。吉川区を考える公募公選制で出た我々が、区民の代表としてあそこから吉川区の発展の糸口をつかみたいと思っている。何とかならないものか。

【関沢委員】

- ・場所としては良いところだと思う。道路もインターから降りてすぐのところである。吉川にあんなに良いところで何も考えられないなどと、皆に笑われてしまう。

【山岸会長】

- ・また、事務局とどういう風に進めたらよいかを含めてお話しする。この件はこれでよろしいか。

【関沢委員】

- ・我々が何を言っても進まないのであれば、これ以上どうにもならない。

【山岸会長】

- ・要望するだけでは駄目なので、せめてサポーターになれないかなと思っ

- ・次の(2)その他で何かあるか。

(案件なし)

- ・6 総合事務所からの諸連絡をお願いする。

【平原班長】

- ・(「八幡橋の架け替え工事完了について (供用開始日、バス路線変更等について)」について説明)

- ・上越市の「地域自治推進プロジェクト」において、上越市がこれから向かうべき「理想の地域自治の姿・イメージ」を描くため、地域協議会の皆さんや地域活動団体の皆さんの声をお聞かせいただきたい、ということで皆さんからご協力をいただき、ヒアリング調査を行っている。吉川区では、先月、地域協議会の皆さんにヒアリングシートをお配りし回答いただいたほか、町内会関係、まちづくり関係、地域活動支援事業活用団体、地域独自の予算事業実施団体の皆さんにヒアリングを実施している。町内会長連絡協議会、川谷もよりの将来をみんなで考える会、吉川区青少年健全育

成会議、里山文化研究会、越後長峰城址保存会、夢をかなえる会の6団体から意見をいただいております。今後、もう2団体（吉川観光協会、まちづくり吉川）にヒアリングを実施する予定である。

- ・ヒアリングでいただいた意見については、地域政策課で8月を目途に集約を行い、今年度中に理想の姿をお示しするとのことである。山岸会長から、各区の協議会の意見集約結果も提供していただきたいとの話もあり、地域政策課からは何らかの形で提供できるようにしたい、との話を聞いている。
- ・（「市からの配布物（柿崎区地域協議会日より、大潟区地域協議会日より、長峰城址見学会案内）」について説明）

【山岸会長】

- ・今の報告について、質問意見はあるか。

【佐藤副会長】

- ・八幡橋の総工費はどれくらいか。

【風間所長】

- ・県の工事のため、こちらでは分からない。

【山岸会長】

- ・他にいかがか。

（質問意見なし）

- ・7その他に入る。
- ・地区別懇談会の件で提案があるが、参加人数は少ない。広報の仕方が悪いのか日時の設定が悪いのか、ただ皆さんが、関心がなく来ないのではないのであって、知らなかった、あるいは知らせる時期が遅すぎたということも実は耳に入っている。もう少し告知を早くして日時、曜日を考えていただいた方が、平日の夜のみということではないことを含めて、折角、行政が区民と懇談し要望を拾える場所なので、地域住民が集まりやすいよう考えていただきたい。

【平山次長】

- ・ご意見として承る。

【大滝委員】

- ・観光協会主催で8月11日に山の上ライブが行われる。訪れていただきたい。まちづくり吉川だよりで縁日露店販売品等に記載誤りがある。

【平原班長】

- ・誤りの連絡がこちらにも寄せられたが、まちづくり吉川が原稿を作成しているので、まちづくり吉川にお伝えする。本番の前にカラーチラシが入るのでこちらには正しく掲載される。

【山岸会長】

- ・次の日程は、8月24日（木）18時30分からとする。
（了解の声あり）

【佐藤副会長】

- ・以上で第3回地域協議会を閉会する。

10 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL:025-548-2311（内線213） E-mail:yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。